

小野市議会だより

2026. 8
No. 223



特集

本会議場をのぞいてみよう！

小野市議会 MAP

本会議場・委員会・システムについて紹介します

＝ 本会議場編 ＝



1 議長席



本会議を進める議長が座る席です。議長は、議員や当局の発言を整理し、会議を公平かつ円滑に進めます。また、発言の許可や採決の進行も行います。

3 議員席



議員が本会議に出席し、議案や市政について考えるために座る席です。議員は、資料を確認しながら説明や質問を聞き、審議に参加します。

5 傍聴席



市民の皆さんが本会議を見ることができる席です。本会議はどなたでも傍聴でき、議場ででのやり取りを通じて、市政を身近に感じるきっかけになります。

2 演壇



本会議で発言を行う場所です。一般質問では、議員が市政の課題について質問し、市長や当局が答弁します。提案された議案の説明にも使われます。

4 市長・当局席



市長や当局が本会議に出席し、議案や市政について説明するために座る席です。議員からの質問や意見を聞き、市の考え方や取組を議会に伝えます。

6 事務局



事務局は、本会議がスムーズに進むように支える職員の席です。議事の記録や資料の確認、会議の準備などを行い、議会の進行を支えています。

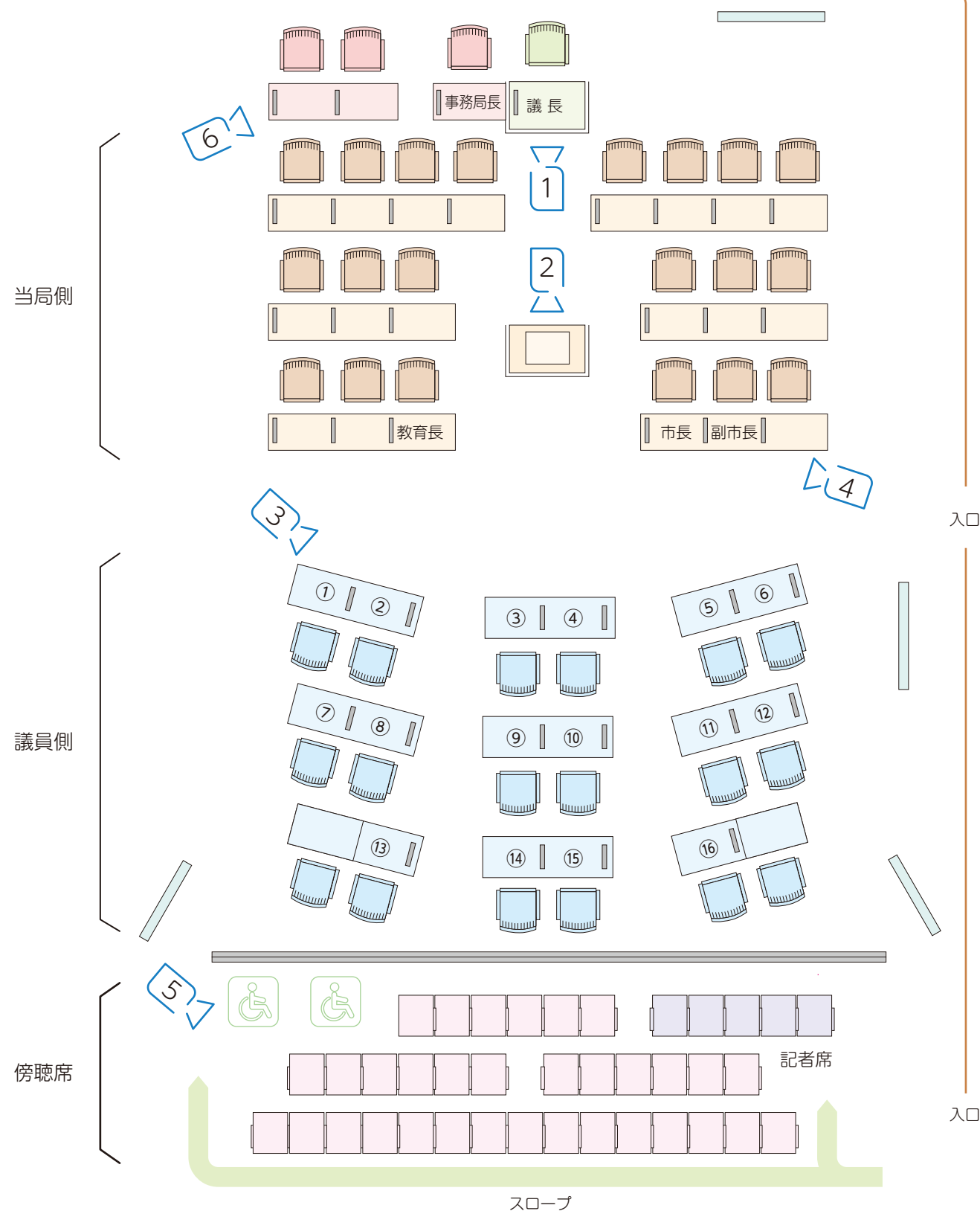
特集

ONO
City Council

小野市議会 MAP

～本会議場をのぞいてみよう！～

市役所の中にある本会議場。そこでは、どんな人が、どんな場所に座り、何を話し合っているのでしょうか。今回は、議場をのぞきながら、市議会のしこを紹介합니다。



＝ システム編 ＝

～ 議会の様子を届ける仕組み ～

本会議での発言は記録され、会議録として公開されます。

モニター



議場にはモニターがあり、発言している人を映します。会議の流れや発言者を分かりやすくするために使われます。(4ヶ所設置されています)

磁気ループアンテナ



傍聴席には磁気ループアンテナが設置されています。聞こえを支援するための設備です。対応する補聴器などを使うことで、議場での音声を聞き取りやすくします。

会議録検索システム

本会議で話し合われた内容は、会議録として公開されます。会議録検索システムを使うと、過去の質問や答弁を調べることができます。会議録検索システムは、小野市議会のホームページからご利用いただけます。

手話通訳・要約筆記

本会議を傍聴する際に、手話通訳や要約筆記を利用することができます。利用には事前の申込みが必要です。希望される方は、議会事務局へお問い合わせください。

市議会放送



本会議の様子は、インターネットでも見るができます。議場に來られない方も、YouTube から会議の様子を確認できます。



傍聴案内

傍聴案内の郵送を終了します。

これまで、議会の定例会の傍聴案内を郵送にてお届けしておりましたが、令和8年9月定例会より郵送を終了し、小野市公式 LINE や小野市議会ホームページでのお知らせに移行します。

今後の確認方法について

小野市公式 LINE

メインメニュー

おしえて
(小野かっぱ)

市議会

一般質問について

URL

各定例会の日程

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

※公式 LINE へのお友達登録がまだの方は、QR コードより登録をお願いします。



小野市議会ホームページ

市議会の日程・審議結果

各定例会の日程

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

市議会傍聴のお知らせ

託児サービス

一般質問が行われる日には、託児サービスを利用できます。小さなお子さんがいる方も傍聴しやすくするための取組です。利用には事前の申込みが必要です。

＝ 委員会編 ＝

3つの常任委員会と議会の運営を決める議会運営委員会があります。

① 予算決算常任委員会 [定数 15 名]

予算・決算等について調査・審査を行う。

② 総務文教常任委員会 [定数 8 名]

広報・広聴、総合計画、プロジェクト、交通政策、財政運営、防災、地域安全、くらし安全、環境、消防、会計、学校、教育、生涯学習等について調査・審査を行う。

③ 民生地域常任委員会 [定数 8 名]

福祉、健康、高齢者、子育て支援、医療、まちづくり、景観整備、道路、河川、住宅、農業、商工業、観光、上下水道等について調査・審査を行う。

議会運営委員会 [定数 7 名]

議事の円滑な進行を図るため、議会の運営について協議することを主な目的として議会内に常設されています。



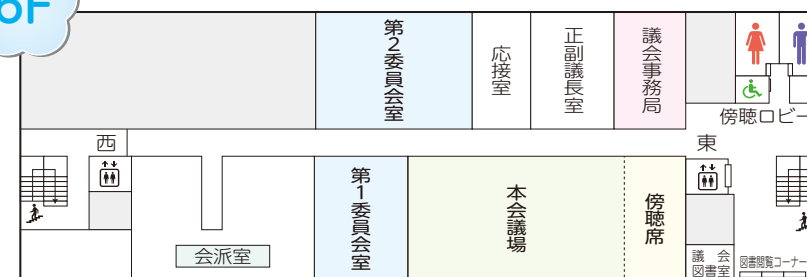
QUESTION

委員会審査とは？どこで決めるの？

ANSWER

本会議に提出された議案は、それぞれの常任委員会に付託され、専門的に審査されます。議案によっては、本会議を一度休憩し、その間に委員会を開くこともあります。委員会での審査結果は、本会議で報告され、最後に採決します。

6F



委員会風景

トライやるウィーク！ 中学生が本会議場見学

トライやるウィークで市役所に来ていた中学生の皆さんが、議場を見学しました。議場では、実際の席や発言する場所を見てもらいながら、市議会ではどんなことを話し合っているのかを紹介しました。普段はなかなか入ることのない議場ということもあり、少し特別な時間になったのではないかと思います。

市議会は、まちのことを話し合う場所です。今回の見学を通じて、小野市のことや市議会を少しでも身近に感じてもらえればと思います。

5月18日 小野中学校
5月25日 小野南中学校・旭丘中学校



議会運営委員会・議員協議会で協議

「加東市が3月に市議会を自主解散し4月の市長選挙と同時に市議会議員選挙を実施したことについて、小野市でも検討してほしい」という「市長への手紙」をきっかけに、5月29日の定例会第1日目に市長から市議会で議論していただきたいという申し入れがありました。

※加東市で同時選挙となった背景

加東市議会では、議員定数を次期改選時に16名から14名へとすることを決定したのちに、令和7年5月に議員1名が辞職、欠員が出たことで、現行法律では令和8年4月の市長選挙と同時に市議会補欠選挙を行い、さらに半年後の令和8年10月に市議会選挙をしなければならない状況であったので、令和8年3月に市議会を自主解散し、4月に市長選挙と合わせて実施された。

協議結果：自主解散せず任期を全うする

本来4月実施予定の市議会議員選挙を2月の市長選挙と同時に実施するとなると、議員の任期を4カ月前倒して12月に解散する必要があります。この場合、小野市においては、約1,800万円の費用削減、投票率のアップ、有権者・選挙事務従事者の負担軽減等の効果が考えられます。市議会としてこれらメリットを十分理解したうえで、6月4日に議会運営委員会、6月10日には全議員参加の議員協議会を開催し議論を行いました。

各議員からは、

- 小野市議会では、市民の負託を受けた議員16名が1名も欠けることなく、精力的に活動を続けている。
 - 4年任期の負託を受け職務を行っており、加東市のような特殊事情がない中で、途中で自主解散するという選択肢を考える状況にない。
 - 被選挙人（新人候補者）への準備期間等の配慮
 - 市議会議員選挙は、4月の統一地方選を守ってきた歴史がある。
- などの意見があり、結論としては、本来の任期を全うすべきとなりました。

当市議会では、令和6年度に次期選挙からの議員定数を2名減の14名とする決断をするなど、積極的に議会改革に取り組んでおります。「同時選挙の実施」についても重要な課題であるという認識のもと、その時々状況に応じて迅速かつ適正な判断を行いながら、今後も継続して研究・検討をしてまいります。

審議議案の中から PICK UP!

一般会計補正予算第1号（議案第32号）
乗合型オンデマンド交通の実証運行を行います

《事業内容》

市内における新たな交通施策として、地域限定で、乗合型オンデマンド交通の実証運行を行います。

乗合型オンデマンド交通とは、複数の利用者からの配車予約に、AIが最適なルートを設定し、乗り合わせて利用する公共交通システムです。電話予約に加えLINEアプリを用いた配車予約を導入し、低料金の一律運賃制で運行します。

《実証運行期間》（予定）

令和8年10月1日～12月31日

《実証運行地域》

昼間（7時～19時）下東条地区にお住いの方を対象に、下東条地区と主要施設を結ぶルートを対象に実施

夜間（19時～24時）市内にお住いの方を対象に全市域を対象に実施

《事業費》

1,850万円

（議案第35号）
河合中学校の長寿命化改修工事の契約先が決定

河合中学校長寿命化改修工事の工事請負業者が公募型競争入札により決定したため、契約を締結します。

《工事名》

河合中学校長寿命化改修工事

《契約金額》

14億580万円

《契約相手方》

姫路市辻井1丁目1番23号
株式会社赤鹿建設
代表取締役
赤鹿 竜夫



提出議案と審議結果

可決

全会一致で可決した議案

区分	議案番号	議案名
補正予算	議案第32号	令和8年度小野市一般会計補正予算（第1号）
条例	議案第33号	小野市公告式条例等の一部を改正する条例の制定について
	議案第34号	小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
	議員提出議案第1号	小野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
契約	議案第35号	市立河合中学校長寿命化改修工事請負契約について
その他	議員提出議案第2号	小野市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に
関わることについて、
10人の議員が
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)

●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由にきめています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。

●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴せます！》

各議員の顔写真の下に QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



河島信行議員（躍進の会）



公共施設や「Ono Sports Festival」開催を

答弁 市長への手紙で同様の意見はないので、考えていない

質問 スポーツは身体的な健康づくりのみならず、心の健康づくりにも繋がるため、市民のための1日を作り、スポーツ施設を無料開放しては。

答弁 かつて総合体育館において、「体育の日（10月10日）」に、種目を限定し、無料開放を行った時期があるが、①参加者の減少②新たなスポーツ層の普及拡大につながらなかった③ボランティアスタッフの負担の点から廃止した。(市当局)

質問 らんらんタクシーの利用範囲が、イオン社店・三木店にも拡大されたが、特定の企業のみでは、不公平である。この際、三木市内や加東市内のスーパー店等まで利用範囲を拡大しては。

答弁 イオン小野店の一時休業により、同一店舗内で、食料品、衣料品

等をまとめて購入できる総合スーパーがなくなり、利便性が低下しているため、「そよら小野（仮称）」が開店するまでの間、特例として、イオン社店・三木店にのみ利用範囲を拡大している。議員提案の拡大は考えていない。(市当局)

質問 小野市指定文化財の認定の基準について。

答弁 対象となる文化財が、①意匠的・技術的に優れている②歴史的・学術的価値が高い③流派や地方的な特徴が顕著などの要件を小野市文化財保護委員会が慎重に審議し、小野市教育委員会が指定している。好古館では、新たな文化財の指定に向けた研究を進めている。(市当局)

平田真実議員（創生おの）



分娩施設の減少をどう考える

答弁 安心して出産できる体制の確保は極めて重要

質問 本年3月末をもって民間の医療機関が分娩の取扱いを終了し、市内の分娩可能施設は北播磨総合医療センターのみとなった。北播磨総合医療センターでは、月によっては半年先まで分娩予約が埋まっている状況下で、地域で安心して妊娠・出産できる環境を今後どのように維持していけるか。

答弁 北播磨県民局及び圏域市との広域的な視点を踏まえ、支援のあり方や医師確保策について検討を進めていく。(市当局)

質問 遠方の施設へ通院する際の交通費一部助成について。

答弁 里帰りでない場合、周産期母子医療センター等で健診・出産が必要なハイリスク妊産婦が対象となる

(市当局)

将来の整備事業、次の一手は

答弁 企業立地による雇用創出と戦略的な道路計画

質問 浄谷黒川丘陵地における企業誘致の見通しは

答弁 開発区域約65ヘクタール、分譲面積約37ヘクタールを2期に分けて整備する構想である。区域内のインフラ整備や企業誘致は民間事業者が担い、市はアクセス道路等を整備する。造成しやすく市の所有地であるため分譲価格を低く見込めるが、市街化調整区域内のため市街化編入の検討等が必要となる。(市当局)

質問 大池横断道路の狙いは

答弁 市内道路網において、南北方向には国道175号線や県道加古川小野線などの幹線道路が整備されているが、東西方向は市役所前の県道三木穴栗線があるものの比較的弱い。整備が進む「(仮称)そよら小野」や「図書館東側区域」を東西に結ぶ大池

前田昌宏議員（おの未来図）



将来の整備事業、次の一手は

答弁 企業立地による雇用創出と戦略的な道路計画

横断道路の基本計画を策定し、機能強化を図る。(市当局)

質問 小野長寿の郷山田地区内道路の狙いは

答弁 新都市中央線などの整備により沿線が発展してきたのと同様に、開発事業を誘導する契機となる山田地区内道路の検討を進める。(市当局)

質問 生成AIのデジタル活用と、教員の働き方改革は

答弁 人間同士のリアルな関係性の中で学ぶことを念頭に、「使いこなすのではなく、使い分ける」、「必要ないところに必要なだけ」を合言葉に、一人一台端末を活用している。「人間の成長は人との関わりの中で促される」という教育の大事な部分を大切に、教員の働き方改革につなげていく。(市当局)

各議員の顔写真の下に QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

各議員の顔写真の下に QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



Lid/APDについて

答弁 国・県等の専門的知見を注視、慎重に検討

質問 「聞こえている」が「聞き取れない」など、Lid（聞き取り困難症）／APD（聴覚情報処理障害）についての周知啓発について

答弁 通常の聴力検査では異常が発見されず、社会的認知度も低いことから、当事者の方々が日常生活での様々な困難を感じておられることは、市としても認識すべき課題と考える。しかしながら、医学的な研究や認知が比較的新しく、市民への周知啓発は国、県等での専門的な知見の集積などを注視し、慎重に検討する。

（市当局）

質問 教育現場での対応について

答弁 Lid/APDの特性理解は今後の取組課題として、医療機関等との連携のもとに効果的な支援の方法など、インクルーシブな支援体制の研究を進める。

（市当局）

就学前施設での防災教育について

質問 就学前の児童は体力や判断力が未熟なため、危険にさらされるリスクが高いことから、市内各施設での防災への取組は

答弁 おの幼稚園では、幼稚園教育要領に基づき、園児の安全を最優先に不審者・火災・地震対応の各種訓練を年3回程度行い、保護者への引き渡し訓練も実施している。

（市当局）

答弁 保育所・認定こども園では、国の基準で避難及び消火の訓練は、毎月1回となっていることから、これに基づき、毎月訓練を行っている。今後も各施設長と連携していく。

（市当局）

その他の質問 改正自殺対策基本法に基づく協議会の設置について

掘井ひさ代議員（おの未来図）



ペットボトルは自治会集積所へ！

答弁 ペットボトル回収後の「見える化」を周知する

質問 ペットボトルの回収量増加に向け、回収目的や収益の運用状況を市民に周知し、さらなる協力を仰ぐべきでは？

答弁 ペットボトルの透明容器への再生など、回収後の見える化を含め周知を徹底する。

（市当局）

質問 小型家電等の回収については、宅配業者による無料回収を実施されているが、梱包やネット等による発送手続きが負担と感じる市民もおられるのではないかと。いつでも身近な場所に出せる環境づくりが必要で、公共施設等への小型家電回収ボックスの設置を進めるべきではないか。

答弁 回収ボックス設置で利便性は高まるが、発火する恐れや異物混入等の管理上の問題があり、また、設置場所の理解・協力が必要で、今後

質問 高齢者のごみ回収支援は「ハートフルごみ回収事業」を展開され、とても有意義な制度であると評価する。一方で、足腰の衰えを感じている方や、坂道が多い地域、ごみステーションまでの距離が遠いなど、ごみ出しに負担を感じている高齢者もあり、要件緩和など検討すべきではないか。

（市当局）



防犯カメラの増設を!!

答弁 警察と協議を重ね、必要であれば設置を検討する

質問 殺人事件が多発する中、防犯カメラは犯罪抑止、事件の早期解決に有効なツールである。万が一の際に備え、防犯カメラの設置箇所を増やしていただけないか。

答弁 現時点において、警察による捜査等で必要と考えられる場所については概ねカバーできている。多くのカメラを設置することはプライバシーの問題からも現実的ではない。引き続き警察と協議を重ね、各種捜査や防犯に有効な場所がある場合は設置を検討する。

（市当局）

答弁 小野市としては防犯カメラの増設よりも、むしろ防犯カメラがなくても、住みよいまちを目指している。

（市長）

質問 自治会が設置する防犯カメラの補助金制度について、要件の緩和や全額補助の考えはないのか。

答弁 全額補助にしてしまうと、その必要度に関わらず安易に設置する自治会が出てくる。大事なのは市民の防犯意識を高めることである。

（市当局）

質問 夏期の屋外スポーツ施設の早朝開放について、前回前向きな回答を頂いたが、今後の具体的な取組は？

答弁 早朝利用による騒音問題など、解決すべき課題が山積している状況である。意向調査の結果を踏まえ、将来的な試験的運用を含めて、指定管理者である「都市施設管理協会」と、その可能性を探っていく。

（市当局）

山本麻貴子議員（おの未来図）



障がい者への合理的配慮

答弁 相談支援体制のさらなる充実に努める

質問 障がいが見えづかれない方もいるが、市役所窓口における取組はどうか

答弁 障がいをお持ちの来庁者に対しては、筆談及び手話通訳による対応、わかりやすい日本語や文字・図等を使用し目で見える形での説明、障がい特性に配慮した丁寧な対応を行っている。

（市当局）

質問 小野市でのヘルプマーク配布実績について

答弁 令和7年度は、148枚。そのうち精神障害26枚、肢体不自由26枚、心臓機能障害25枚、知的障害24枚、腎臓機能障害が11枚、その他36枚。権利擁護に必要な施策であることから、市でヘルプマークを製作し、引き続き必要な方々への配布を行う。

（市当局）



宮脇健一 議員（日本維新の会）



デジタル人材の育成について

答弁 全職員のデジタル人材化を推進していく

質問 専門的なIT知識を持つ職員の育成について、現在の育成状況は？

答弁 デジタル人材の育成については、小野市人材育成基本方針において、「全職員のデジタル人材化」を掲げ、専門的なIT知識を持つ職員には、セキュリティやシステム管理のほか、デジタルツールを作り出すことで業務改善ができる人材として、主にICT推進課でのOJTを基本に実践を踏まえながら人材育成している。

具体的には、ICT推進課が中心となり、様々なシステム構築やアプリ開発など、各部署からの業務依頼に応じ対応しているが、持続可能な体制とするため、構築した職員しか対応できないということがないよう課内で業務内容の共有化やクロストレーニング（多能化）を図ることに

より属人化を防いでいる。

大事なことは、「DXがわかる人」ではなく、「DXができる人」を育成していくこと。単なる知識や技術の継承ではなく、ICT推進課で培った経験を活かし、その職員を市民課や税務課などシステムを活用することの多い部署へジョブローテーションすることで、実務への理解を深め新たな課題発見や改善意識を醸成し、より効果的にデジタル技術を活用できる人材の育成にも努めている。

今後、好事例を全庁的に共有し、類似業務への横展開を進めることで、DX推進の取組をさらに加速させ、知識やノウハウの共有や継承に取り組んでいく。

（市当局）



藤原 章 議員（日本共産党）



「大池横断道路」について

答弁 東西の道路網が脆弱。将来を見据えて考える

質問 「大池横断道路」は事業効果が少ないと考える。道路を整備するとなれば、用地買収や立ち退きが必要で、橋梁にすると費用も維持費も大きく、将来に禍根を残すのでは。

答弁 東西を結ぶ道路網が脆弱であり、「（仮称）そよら小野」ができると混雑が予想される。効率的なアクセス確保や交通渋滞対策など将来を見据えた計画を進めていく。

（市当局）

市道榎山大開線の改修を

質問 市道榎山大開線と山田町から来る市道が接続する三差路は見通しが悪いが、改修する考えはないか。

答弁 道路構造令の基準を満たし、安全は確保されている。路肩の除草等も定期的に実施しており、現状では道路改良の必要はない。今後、三木スマートインター供用開始等で交通量が増加し安全体制が必要となった場合には対策を検討する。（市当局）

福祉給付制度適正化条例の廃止か修正を

（市長）

質問 この条例は福祉給付の申請をためらわせ、人間の尊厳や基本的人権を侵害する恐れがある。廃止か修正を求める。

答弁 小野市の資産価値を上げて税収を増やし、福祉や医療、教育へと財源を循環させ、将来の市民に対する贈り物として施策を進める。

答弁 議会の議決を得て条例を制定し、成果を上げている。議員とは見解の相違だ。

（市長）

常任委員会審査報告

6月定例会の提出議案審査について、予算決算及び総務文教常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

＜予算決算常任委員会＞

6月22日開催

付託議案数：1件（議案第32号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

議案第32号 令和8年度小野市一般会計補正予算（第1号）について

「乗合型オンデマンド交通実証運行事業経費」について、AIシステムを活用した乗合型デマンドタクシーの実証実験を開始するにあたり、経費の内訳や導入スケジュール、購入車両の適正な取扱い及び本格実施移行に向けた見通し等について、多方面から確認を行いました。

＜総務文教常任委員会＞

6月22日開催

付託議案数：3件（議案第33号～議案第35号）

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

議案第35号 市立河合中学校長寿命化改修工事請負契約について

工事契約期間が1年を超え、昨今の物価高騰による工事への影響が懸念される中で、契約の内容等について詳細に確認を行いました。

高坂純子 議員（無会派）



中学校の白ヘルメットを見直しては!!

答弁 多種多様の考え方はあるが、状況を見て段階的に

質問 自転車の「青切符」制度導入により、ヘルメット着用が努力義務となった。安全の確保に焦点を置き、色や形にこだわる必要はないと考える。着用率の向上や、自転車事故防止の観点から、高校でも着用できるよう中学校のヘルメットの色や形の見直しを行ってはどうか。

答弁 ヘルメットの着用は現段階では努力義務。段階的に動いていくと思う。強制的に行政としてヘルメットの形式の指定や貸与の方法等を工夫しても効果は乏しい。罰則規定が明確になれば違ってくると思うので、しばらく様子を見ていく。（市長）

質問 法律で自転車は車道走行だが危険を伴う。事故防止対策は。

答弁 交通対策委員会や関係各所とのネットワークを構築し、危険な場

所について情報共有を行っている。

歩道においては、「自転車歩行者通行可」の標識が設置可能であれば、警察との協議を重ね、設置を要望する。

（市当局）

小野市詩歌文学賞・小野市短歌フォーラムについて

質問 今後ますます発展し続けるための市長の考えは。

答弁 「あの有名な詩歌文学賞の町ですか、凄い！」と言われるために、組織をあげて市民に納得できるように説明し、熱意を持って対応する以外にない。価値を認め、今後も無形の効果として育てるのか、育てないのか、という大きな判断を求められている時である。（市長）

各議員の顔写真の下に QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

総務文教常任委員会視察報告

令和8年7月8日(水)～令和8年7月10日(金)

★防災・防犯カメラネットワークシステム整備の取り組みについて（東京都荒川区）

災害発生時に速やかに被災状況を把握し、避難指示等に繋げる為に防災カメラを、また、行方不明児童や認知症の方の捜索を主体とした、緊急性の高い事案の早期解決を図る目的で、「顔識別機能」を搭載したAIカメラを新たに設置。

防 災 カ メ ラ：区内の緊急輸送道路周辺に、500m間隔で31台。
AI 防犯カメラ：33台。

それらをクラウド上で一括管理することにより、事務の効率化や情報収集、共有時間の短縮効果を図るなど、先進的な取り組みをされていた。



★乗合型 AI オンデマンド交通「うきしろ号」について（埼玉県行田市）

高齢化に伴い、生活の足としての地域公共交通へのニーズが見込まれること等を背景に、「便利で愛される持続可能な地域公共交通の実現」を目指し、乗合型 AI オンデマンド交通を導入。

<特徴>

- ①運行ルートを定めず、予約に応じたルートをAIが選定して運行。
 - ②同じ時間帯に同方向へ向かう利用者が乗り合わせる乗合型。
 - ③セダン型2台、ワゴン型1台、車いす対応車1台の計4台で運行。
 - ④年代や運転免許返納などの有無により、5段階で料金を設定。
- * 令和7年の実証実験を経て、令和8年1月6日より本格運行を開始された。



★武蔵野クリーンセンター及びむさしのエコreゾートについて（東京都武蔵野市）

●武蔵野クリーンセンター

「より良い場所へ、よりよい施設を」を柱とし、市の中心にある市営グラウンドにクリーンセンターを建設。全国トップレベルの排ガス基準値を設定するなど、環境の保全に取り組むほか、その立地条件を活かし、隣接する市役所や学校などの公共施設へ熱源を供給している。

●むさしのエコreゾート

旧施設の跡地を利用し、環境問題について考え市民意識を高めたり、催し物を開催する「エコreゾート」を運営しておられる。



まちの景観に配慮した武蔵野クリーンセンター

★《所感》

それぞれの分野において先進的に行われている市の取り組みについて学びました。小野市も今年の10月に実証実験を行うAI型オンデマンド交通、建て替えが決定しているクリーンセンターなど、当市においての喫緊の課題分野について勉強させていただくことができました。小野市のこれからの取り組みについて再確認し、よりよい政策となるよう研鑽を重ねていきたいと思ひます。

議会と市民との懇話会

一般質問を行う日の本会議の休憩中に、傍聴に来られた方が議会での一般質問や市政等について質問することができ、議員や市当局がその場で答える懇話会を実施しています。

傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非議場にお越しください。



【懇話会での質問】



- ごみの有料化について
- 第8弾「おの恋らっきやらっきや券」についてなど



傍聴席から見た議場の様子

全国市議会議長会表彰

第102回全国市議会議長会総会において、在職10年以上の議員1名（平田真実議員）、在職15年以上の議員6名（高坂純子議員、山本悟朗議員、小林千津子議員、藤原章議員、前田光教議員、河島三奈議員）が全国市議会議長会会長表彰を受けました。



平田真実議員 高坂純子議員 山本悟朗議員 小林千津子議員 藤原章議員 前田光教議員 河島三奈議員

兵庫県功労者表彰

市議会議員として15年以上かつ正副議長経験者として、小林千津子議員が令和8年兵庫県功労者表彰（自治功労）を受けました。



小林千津子議員



議会を傍聴しませんか？



令和8年9月定例会(予定)

※変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27	28 本会議1日目 (10:00～) 議案説明	29
30	31	9/1	2 託児申し込みメ (10・11日分) 手話通訳・要約筆記 申し込みメ (10・11日分)	3	4	5
6	7	8	9	10 本会議2日目(10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	11 本会議3日目(10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	12
13	14	15 予算決算常任委員会 (10:00～)	16 予算決算常任委員会 (10:00～)	17 手話通訳・要約筆記 申し込みメ (25日分)	18 総務文教常任委員会 (10:00～) 民生地域常任委員会 (13:30～)	19
20	21	22	23	24	25 本会議4日目 (13:30～) 議案の採決など	26

※議会と市民との懇話会 … 一般質問を行う日の本会議休憩中に、傍聴者の方からご意見をいただく機会を設けています。

※託児コーナー開設 … 一般質問を行う9月10日(木)、11日(金)は、「託児コーナー」を開設します。

傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。

9月2日(水)までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

※手話通訳・要約筆記 … 本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。

希望日の8日前までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

議会傍聴者数

6月定例会
32名

(令和8年度計32名)

傍聴方法

本会議の受付場所 市役所6階

傍聴者名簿に住所・氏名を記入

※入退場自由/定員38人

※耳が聞こえにくい方も傍聴できるよう磁気ループを設置しています。

各委員会の受付場所 市役所6階

傍聴者名簿に住所・氏名を記入

ネット中継視聴方法

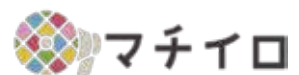
本会議の様子をパソコンやスマホ等でいつでも視聴できます。(ライブ中継・録画視聴) 過去2年分の録画中継が視聴できます。

小野市議会

検索



スマホで議会だより



アプリをダウンロードするとスマホに広報紙が届きます！



《お申し込み先》 議会事務局 TEL. 63-1006(直通) FAX. 63-4108
E-mail: gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

■あとかき

小野市議会だよりをご覧ください。ありがとうございます。

今回の特集は「小野市議会MAP」です。本会議場や委員会室など、普段は見えない議会場の場面にも触れながら、市議会の役割や流れを紹介しています。市民の皆さんの暮らしに関わるものが、どのような場で話し合われているのかを知っていただく機会になれば幸いです。

引き続き小野市議会の活動に、ご理解と協力をよろしくお願いいたします。

(市議会報編集委員

宮脇健一)

委員長

喜始

副委員長

村本

委員

掘井 洋子

山本 麻貴子

宮脇 健一

河本 三奈

山本 信行

河島 悟朗

河島 信行

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。